

社会保険・公的年金・企業年金

はじめに

世界一の長寿国である日本。リタイア後の生活が20年以上続く時代です。長生きに対するリスクヘッジが本格的に必要な時代となりました。

現役時代もリタイア後も、日常生活を送る上で病気やケガはつきものです。病気やケガ、死亡などに起因する個人の生活上のリスクに対して、社会として対処しようとするのが社会保障制度であり、リスクが発生した場合、国や機関が一定の給付を行い、経済的な生活保障を行う保険が社会保険です。リスクに対しては民間の保険制度（生命保険や損害保険）もありますが、公的な保障制度を理解することにより、より効率的で無駄の無い民間保険の利用方法や資金運用が可能となります。

社会保険

公的年金を除いた、医療保険・介護保険・雇用保険・労災保険を社会保険として学びます。医療保険制度は給付の概要や退職後の扱い、介護保険では介護認定や利用手続きの流れと給付の概要、労災保険・雇用保険はその仕組みと給付内容、雇用保険・労災保険と年金給付の調整などについて学びます。

公的年金

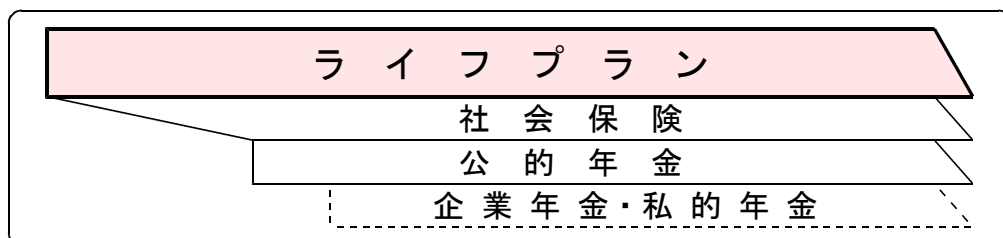
公的年金は国民年金と厚生年金保険の2つがあります。相次ぐ年金改正により、制度の将来像は明確ではありませんが、公的年金は、リタイアメントプランにおける生活資金の確保という点では最も貢献しています。老齢年金だけではなく、障害年金・遺族年金の制度をも考えれば、その重要度はさらに増してきます。

公的年金制度の仕組み、各種年金（老齢年金・障害年金・遺族年金）の受給要件や年金額の計算方法などについて学びます。

企業年金・私的年金（個人年金）

企業年金とは、会社や個人事業主が従業員の退職後の生活安定を目的として行う企業内の年金制度です。公的年金に続く第二の年金として重要な位置を占めます。厚生年金の給付の一部を代行する厚生年金基金、確定給付企業年金、確定拠出型年金、事業主向けの国民年金基金や小規模企業共済制度の概要を学びます。

自助努力による年金を個人年金といいます。個人年金保険の利用がほとんどであり、生命保険会社、損害保険会社、共済団体等が取り扱っているもので、種類も豊富です。なお、個人年金については「リスクと保険」で学習します。



社会保険・公的年金・企業年金の学習ポイント

1. 社会保障制度 ★★

- 社会保険の種類と適用区分／保険者と被保険者／短時間労働者への適用拡大／特定適用事業所

2. 医療保険制度 ★★★

- 協会管掌健康保険の概要／保険料の算定方法、被扶養者の条件、マイナ健康保険証
主な保険給付 療養の給付と窓口の一部負担割合、高額療養費、傷病手当金、
出産育児一時金、出産手当金など／保険給付の対象とならないもの
- 退職後の医療保険制度の選択／任意継続被保険者の条件
- 国民健康保険の概要
- 後期高齢者医療制度の概要／対象年齢、自己負担割合、保険料負担など

3. 介護保険制度 ★★

- 被保険者の区分、保険料の徴収方法、要介護の区分、介護給付と予防給付の概要、支給限度額と利用者負担割合、保険給付から除外されるもの、など

4. 労働保険 ★★

- **労災保険** 保険料負担者、保険給付対象は業務上災害および通勤途上災害、保険給付の対象者、労災保険の特別加入制度など
- **雇用保険** 給付の種類と支給要件／求職者給付、就職促進給付、教育訓練給付、雇用継続給付、失業給付の基本手当、再就職手当等、教育訓練給付金、高齢者雇用継続給付、育児休業給付、介護休業給付など

5. 公的年金制度 ★★★

- **公的年金制度の全体像** 公的年金の沿革、公的年金の種類と給付内容、年金額の改定方法、マクロ経済スライド調整期間の年金額など
- **国民年金** 加入義務者と被保険者区分（第1号・第2号・第3号）および任意加入制度、保険料免除および納付特例制度、受給資格期間10年の算定、支給開始年齢と繰上げ受給または繰下げ受給、満額の年金額、振替加算の要件など
- **厚生年金** 総報酬制と保険料負担、平均標準報酬月額と平均標準報酬額、60歳台前半と60歳台後半の受給要件、特別支給の老齢厚生年金の支給開始年齢の引上げスケジュール、加給年金の要件、在職年金制度の仕組みと適用対象者、年金計算の仕組み、年金分割制度など
- **障害給付** 障害基礎年金と障害厚生年金の支給要件、障害等級、障害認定日、厚生年金の独自給付など
- **遺族給付** 遺族基礎年金と遺族厚生年金の支給要件、年金法上の子、中高齢寡婦加算の支給要件、遺族年金の失権事由など
- **公的年金の併給** 労災保険との併給調整、障害基礎年金と老齢厚生年金または遺族厚生年金との併給、遺族厚生年金と老齢基礎年金との併給

6. 企業年金 ★★★

- 企業年金制度の概要／厚生年金基金、確定給付企業年金（規約型・基金型）
- 確定拠出年金制度／加入対象者と拠出限度額、税制上の優遇措置、脱退要件など
- 異なる企業年金間における個人の年金資産の移換（ポータビリティ）
- その他／中小企業退職金共済制度（中退共）、国民年金基金、小規模企業共済制度等の概要（加入対象者、支給要件、税制上の取扱いなど）

7. シルバー世代と税金 ★★

- 公的年金等の税金、源泉徴収制度／個人年金の税金

★マークは出題頻度を☆の数でイメージしたものです。

第1編 社会保険

第1章 社会保険の仕組みと概要

1. 社会保険の概要

第2章 医療保険制度

1. 健康保険の概要
2. 健康保険の被扶養者
3. マイナ健康保険証
4. 健康保険の給付
5. 国民健康保険（国保）
6. 退職後の医療保険
7. 後期高齢者医療制度（長寿医療制度）

第3章 公的介護保険制度

1. 公的介護保険の概要
2. 介護保険の利用手続きと給付の内容
3. 支給限度額と利用者負担の上限額
4. 高額医療合算介護サービス費
5. 共生型サービスの実施

第4章 労働保険

1. 労働者災害補償保険（労災保険）
2. 雇用保険
3. 高年齢者雇用安定法

第2編 公的年金

第1章 公的年金制度の仕組み

1. 公的年金の沿革
2. 日本の年金体系
3. 公的年金制度の概要

第2章 公的年金の被保険者と保険料

1. 国民年金（基礎年金）の被保険者と保険料
2. 厚生年金の被保険者と保険料
3. 年金額改定の仕組み

第3章 老齢給付（老齢年金）

1. 老齢基礎年金の受給要件
2. 老齢基礎年金（国民年金）の年金額
3. 老齢基礎年金（国民年金）の受給開始年齢
4. 老齢基礎年金の繰上げ受給・繰下げ受給
5. 年金生活者支援給付金
6. 老齢厚生年金の受給要件
7. 60歳台前半の老齢厚生年金の年金額
8. 65歳からの老齢厚生年金の受給要件と年金額
9. 厚生年金の繰上げ受給、繰下げ受給
10. 在職老齢年金
11. 厚生年金（報酬比例部分）分割制度

第4章 障害給付（障害年金）

1. 障害給付の概要
2. 障害基礎年金
3. 障害厚生年金
4. 障害年金の額の改定

第5章 遺族給付（遺族年金）

1. 遺族給付の概要
2. 遺族基礎年金
3. 遺族厚生年金

第6章 年金の請求手続き

1. 自分の年金額を知りたいとき
2. 請求手続き

第3編 企業年金・年金税務

第1章 企業年金の概要

1. 退職給付会計とその影響

第2章 各種企業年金の概要

1. 確定給付企業年金（DB）
2. 確定拠出年金制度（DC）
3. 厚生年金基金
4. 企業年金等のポータビリティの拡充
5. 特定退職金共済団体、その他の年金
6. 自営業者等に向けた年金

第3章 年金と税金

1. 年金に関する税務
2. 公的年金等の税金
3. 個人年金（生命保険契約等に基づく契約）の税金
4. 所得税の確定申告